

議会に変化のきざし？——2019年4月自治体議員選挙における女性比率

林 和孝（地域生活研究所元事務局長）

2019年4月に行われた自治体選挙における都内の状況は、全体として低投票率が継続し、議会の構成に大きな変化があったわけではないが、いくつかの変わるきざしがみえたといえるかもしれない。それらの現象は、国政与党である自民党・公明党の議席占有率がいくぶん減退したこと、「NHKから国民を守る党」や「あたらしい党」のような諸派が一定の議席を確保したこと、そして女性の当選者比率が上昇したことなどで、全般的に多様化の傾向がみられた。ここでは議員当選者の女性比率に焦点を当ててみよう。

2019年12月に発表された世界経済フォーラムの『グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書2020』では、格差の低い順から並べた日本の順位は153か国中121位、政治分野では144位というもので、前回の試算よりも後退していた。日本の議会の女性比率は、衆議院10.1%、参議院22.9%、都道府県議会10.0%、市議会14.7%、町村議会10.1%で、参議院以外は1割台である。自治体議会の数値は2018年末のもので、東京都議会の女性比率は29.0%である（総務省「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調等」2019年3月、各HPによる）。

表1は、都内各自治体議会の当選者・議員の女性比率である。今回の選挙結果と2016年4月の比率を掲げている。2016年4月のデータは、このデータブック2017年版に掲載されている。

表1 都内自治体議会の女性議員比率(2019年4月選挙自治体)

	2019年4月	2016年4月		2019年4月	2016年4月
千代田	24.0	20.0	八王子	30.0	25.0
中央	40.0	30.0	武蔵野	46.2	38.5
港	38.2	32.4	三鷹	28.6	17.9
新宿	26.3	23.7	青梅	20.8	16.7
文京	41.2	41.2	府中	23.3	20.7
墨田	31.3	31.3	昭島	22.7	22.7
江東	29.5	29.5	調布	32.1	35.7
品川	27.5	27.5	小平	39.3	35.7
目黒	30.6	41.7	東村山	48.0	41.7
大田	22.0	22.0	国分寺	36.4	29.2
世田谷	38.0	32.0	国立	38.1	36.4
渋谷	32.4	20.6	福生	10.5	10.5
中野	26.2	21.4	狛江	45.5	40.9
杉並	31.3	33.3	東大和	22.7	23.8
豊島	41.7	23.8	清瀬	45.0	45.0
北	30.0	20.9	東久留米	22.7	27.3
荒川	28.1	25.0	武蔵村山	15.0	15.0
板橋	30.4	23.9	多摩	34.6	40.0
練馬	28.0	24.0	稲城	31.8	27.3
江戸川	27.3	25.0	羽村	16.7	16.7
平均	31.2	27.5	平均	30.5	28.3

(注) 東京都選挙管理委員会資料などによる。

女性議員比率の単純平均は、今回選挙のあった区議会では 31.2%、市議会では 30.5%となっている。前回選挙の結果を反映する 2016 年 4 月と比較すると、およそ 2～3%ポイントの増となった。減少している自治体もあるが、全般的に議員の女性比率は上昇した。都議会も含め、東京の女性議員比率は全国の 1 割台を大幅に上回っている。

注目されるのは、東村山市では女性議員があと 1 人増えれば、男女比が逆転するところまできていることだ。武蔵野市でも女性議員 1 人増でパリティ（均衡）となる。区議会議員の女性比率が最大の豊島区は、あと 3 人の女性議員が生まれればパリティに達する。それに対して、福生市議会の女性比率は 10.5%と、全国市議会平均を下回っている。自治体ごとの女性議員比率は大きくバラついている。

2019 年 4 月選挙の主要党派別の女性当選者比率をみたのが、表 2 である。自民党の比率は、他党派に比べて格段に低い。都内合計では、諸派・都民ファーストの会・日本共産党・旧民主党系・公明党の順となる。無所属の女性当選者比率は区議会が高く、市議会で低い。これは市議会の無所属当選者に保守系が多いことを示唆している。

ただし、諸派は全員女性の生活者ネットワークの寄与が大きく、それを除いた諸派を「諸派②」として掲げた。また、都民ファーストの女性当選者はわずかに 11 人で、今回選挙の女性当選者総数 400 人のうちのシェアは小さい。女性当選者数の党派別内訳は、無所属 89 人、共産 77 人、公明 75 人、立憲民主 46 人、自民 42 人となり、生活者ネットワークは当選者が減り 36 人に後退した。区部の無所属に女性比率が高いのはなぜか——検討すべき課題として残る。

表 2 主要党派別の女性当選者比率(2019 年 4 月選挙分)

	%			
	都内合計	区議会	市議会	町村議会
全体	30.1	31.0	30.9	11.5
自民党	12.8	14.6	7.8	0.0
旧民主系	38.5	38.1	39.1	0.0
公明党	29.9	27.3	32.6	50.0
共産党	43.5	45.6	42.6	16.7
都民ファ	45.8	42.1	60.0	0.0
諸派	61.5	49.0	85.2	0.0
諸派②		29.7	20.0	
無所属	28.3	43.4	23.7	6.5

(注) 出所は表 1 と同じ。旧民主系は立憲民主党と国民民主党の合計。「都民ファ」は都民ファーストの会。諸派②は生活者ネットワークの当選者を除いた比率。